

# 令和2年度磯松中学校学校経営モデル

安心と活気のある学校づくりを推進し、地域に愛され信頼される学校を築く

指標①：学校生活に満足している生徒の割合 85%以上

指標②：保護者の学校満足度 90%以上

学校教育目標

確かな学力を身に付け、心豊かで活力にみちた生徒の育成

## 学校で育成する資質・能力

- ①基礎的・基本的な知識・技能を主体的に習得し、自分のものとして活用できる力
- ②対話や議論を通じて多様な考え方、経験、価値観を出し合うなどして、相手の考え方を理解したり、自分の思考を深めたり、広げたりしながら、新たな知識を生み出したりする力
- ③高い志や意欲を持って、主体的に学びに向かい、他者と協働しながら新たな価値を創造しようとする態度

## 学力の向上を図る学校

指標①：「授業が分かる・できた」

生徒の授業満足度 90%以上

- 学習規律の確立、「磯松授業スタイル」の実践、ねらいと学習課題が明確な授業

指標②：「自分の考えをまとめ発表できる」生徒 80%以上

- 「聴く」「書く」「話す」を取り入れた授業、言語活動の充実、発表する場の設定

指標③：「期限内に提出物を出す」

生徒 88%以上

- 適度の宿題、「できるノート」の実施、試験対策週間の充実

## 規律と活気のある学校

指標①：「あいさつ、掃除がしっかりできる」生徒 90%以上

- JASMIN（東広島スタンダード）の徹底、生徒会活動の充実

指標②：男女共に「50M走」県平均値以上

- 新体力テストの結果を踏まえた、弱点克服のための補強運動を実施

指標③：不登校生徒の割合を全国平均以下

- 組織的な未然防止・予防の取組、生徒理解の充実

## 組織的運営をする学校

指標①：「悩みを相談できる先生がいる」生徒の割合 80%以上

- 生徒指導体制の確立、「報告・連絡・相談」の徹底、組織的・積極的な生徒指導、教育相談体制の確立、生徒理解を深める

指標②：「学級生活不満足群(Q-Uアンケート)」生徒の割合 10%以下

- Q-Uアンケートの実施・取組、いじめアンケートの実施・取組、ペア・グループ学習による学び合い、ETプロジェクト（小中合同研修）の活性化